

適用規格							
定 格	使用温度範囲	-55℃ ~ +85℃ ^{(1) (2)}		保存温度範囲	-10℃ ~ +60℃ ⁽³⁾		
	使用湿度範囲	相対湿度90%以下 ^{(2) (4)}		保存湿度範囲	相対湿度70%以下 ^{(3) (4)}		
	電 圧	DC/AC 300V					
	電 流	40A（温度上昇値30℃以内）					
性 能							
	項 目	試 験 方 法		規 格		QT AT	
構造	外観, 構造, 仕上げ	目視, 寸法測定器にて測定する。		図面と合致していること。		○ ○	
	表示	目視にて確認する。				○ ○	
電 氣 的 性 能	接触抵抗 [EIA-364-23]	10mAで測定する。		2mΩ以下 ⁽⁵⁾ 嵌合相手: IT-PB-2S-DIRL (**)		○ -	
	絶縁抵抗 [EIA-364-21]	DC500Vで測定する。		1000MΩ以上		○ -	
	耐電圧 [EIA-364-20]	AC1000Vの電圧を1分間印加する。 (漏洩電流2mA以下)		せん絡・絶縁破壊がないこと。		○ -	
機 械 的 性 能	総合挿抜力 [EIA-364-13]	適合コネクタで測定する。		1) 挿入力: 50N以下／ペア 2) 抜去力: 3N以上／ペア		○ -	
	繰り返し動作 [EIA-364-09]	100回の抜き差しを行う。		1) 接触抵抗: 2mΩ以下 ⁽⁵⁾ 2) 破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。		○ -	
	耐振性 [EIA-364-28]	周波数50 ~ 2000 Hz, 加速度スペクトル密度 0.1g ² /Hz, 3軸方向各90分試験する。 ※試験サンプルは、コネクタ以外の支柱にて 上下の基板固定する		1) 1μs以上の電氣的瞬断がないこと。 2) 破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。		○ -	
	耐衝撃性 [EIA-364-27]	加速度490m/s ² , 持続時間11ms, 3軸方向各3回 試験する。 ※試験サンプルは、コネクタ以外の支柱にて 上下の基板固定する。				○ -	
環 境 的 性 能	熱衝撃 [EIA-364-32]	温度(℃) -55→20~35→85→20~35 時間(分) 30→ 5MAX →30→ 5MAX を10サイクル試験する。		1) 接触抵抗: 2mΩ以下 ⁽⁵⁾ 2) 絶縁抵抗: 100MΩ以上 3) 破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。		○ -	
	温湿度サイクル [EIA-364-31]	温度25℃, 相対湿度80%: 60分 ↓ 30分 温度65℃, 相対湿度50%: 60分 を24サイクル試験する。				○ -	
	耐熱性 [EIA-364-17]	温度105℃中に120時間放置する。		1) 接触抵抗: 2mΩ以下 ⁽⁵⁾ 2) 破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。		○ -	
	4種混合ガス [EIA-364-65]	温度30℃, 相対湿度70% Cl ₂ : 10ppb, NO ₂ : 200ppb, H ₂ S: 10ppb, SO ₂ : 100ppb 未嵌合放置7日間 → 嵌合放置7日間		1) 接触抵抗: 2mΩ以下 ⁽⁵⁾		○ -	
	△の数	訂正記事		設計		検図	年月日
①							
備考	注1. 通電時の温度上昇を含みます。 注2. 使用湿度が80%を超える場合の使用温度範囲は-55~+55℃とします。 注3. ここでの保存とは、基板搭載前の未使用品に対する長期保管状態を表します。 注4. 但し、結露しないこと。 注5. 接触抵抗値は、2箇所の接点と導体抵抗を含む値となります。 試験規格の記載のない試験方法は IEC-60512 (JIS C 5402) を適用している。			承認	TM. MATSUO	20191226	
				検 図	NH. TAMAI	20191226	
				担 当	TF. SUGAWARA	20191226	
				製 図	TF. SUGAWARA	20191226	
注 QT: 確認試験 AT: 製品検査 ○: 適用項目		図番		SLC-363781-11-00			
HRS	製 品 規 格 表		製品名		IT-PB-2P-10H(11)		
	ヒロセ電機株式会社		製品コード		CL636-0632-0-11	△ 1/1	